

⑥ 新穂高溪流保全工その5工事における安全対策について

辻建設株式会社 新穂高溪流保全工その5工事
(工期：平成28年4月1日～平成29年3月31日)

現場代理人 矢後 政幸

みやだ たつや

監理技術者 ○宮田 達也

キーワード： 第三者、公衆、交通

1. はじめに

本工事は蒲田川支流左俣谷と右俣谷の合流部下流において、下流域への土砂流出の抑制、景観・親水性に配慮するために現地の巨石（φ0.5m～2.0m）を利用して護岸工、床固め工を施す溪流保全工工事です。

本稿ではこの工事で実施した安全対策についてご報告いたします。



2. 工事概要

砂防土工	1 式	床固め工	1 式
掘削工	7,800 m ³	作業土工	1 式
埋戻し工	1,100 m ³	床固め本体工	224 m ³
残土処理	1 式	側壁工	1 式
流路護岸工	1 式	構造物撤去工	1 式
作業土工	1 式	仮設工	1 式
基礎工	40 m ³		
護岸工	198 m ²		
底張工	1 式		

3. 施工時における懸念事項

工事場所は中部山岳国立公園内にあり、近くには新穂高ロープウェイ、上流には笠ヶ岳や槍ヶ岳、穂高岳など登山に有名な山々があり、国外からも観光や登山に多くの人を訪れる。

工事場所は観光客や登山者が利用する市営第二駐車場に隣接している。

また、本工事で使用する巨石は工事場所上流の右俣谷第4号砂防堰堤や左俣谷第1号下流砂防堰堤の上流域で採取し、右俣谷や左俣谷林道が降雪によって通行できなくなる前に左俣谷・右俣谷合流点付近まで運搬しておかなければならない。

特に紅葉シーズンは観光客や登山者などが増加することにより、次内容について懸念された。

- ① 市営駐車場の利用者（車）との事故
- ② 巨石運搬時における第三者との事故
- ③ 路上駐車による通行障害、工事用車両と歩行者との事故

4. 対策

① 市営駐車場の利用者（車）との事故防止対策

左俣谷林道から施工場所へは市営駐車場の一部を通らなければ出入りすることができない。また、高山市や指定管理者である奥飛観光開発様より『紅葉シーズンは車で来られるお客さんが増えるので少しでも多くの方が利用できるようにしてほしい』という要望があった。

そこで、駐車場利用者との事故防止を図るため、工事での使用場所と駐車場を木柵で区切り、時期や工事の進捗に応じて位置を変えるようにした。

－紅葉シーズン中－



－紅葉シーズン後－



－使用した木柵－



木柵の間はトラロープでつなぎ、国外の人にもわかるよう4カ国語の立入禁止看板を設置

② 巨石運搬時における第三者との事故防止

上流域で採取した巨石を仮置場である左俣谷・右俣谷合流点まで大型ダンプで運搬する際は右俣谷（または左俣谷）林道を通行しなければならない。

右俣谷（または左俣谷）林道はカーブや幅員の狭い場所も多々あり、登山者や上流域で施工している他工事の車両が通行している場合がある。

そこで、林道の通行経路、注意事項を記載したパンフレットを作成し、重機運転手や巨石を運搬するダンプトラックの運転手には新規入場時教育時などで説明し、守るようにしてもらった。

また、パンフレットは工事用車両表示と両面印刷し、走行時には掲示することで本工事の車両であることがわかるようにした。

－表面（工事用車両明示）－



－裏面（パンフレット）－

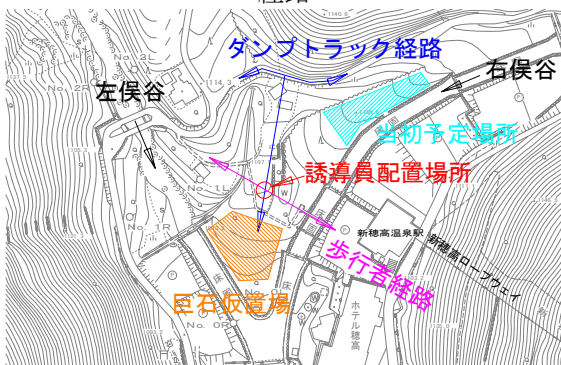


当初、採取した巨石の仮置場は右俣谷第2号床固工右岸側の高水敷を予定していた。しかし、別途工事で採取・運搬した巨石と本工事の2工事分の巨石を置けるスペースはなく、仮置場を左俣谷・右俣谷合流点付近に変更しなければならなくなったが、巨石を運搬するダンプトラックの通行経路と新徳高ロープウェイの新徳高駅を利用する観光客や登山者が右俣谷に架かる幸橋を渡る経路とクロスする形となる。

観光客や登山者、ダンプトラックの運転手が相手に気づかず、接触による事故が考えられた。

そこで、クロスする場所（幸橋の橋詰め）にダンプトラックの誘導をおこなう誘導員を配置し、事故防止を図った。

－経路－



－工事用車両誘導員配置状況－



③ 路上駐車による通行障害、歩行者との接触事故防止

紅葉シーズンは特に多くの観光客や登山者が訪れ、付近の駐車場が満車になる。駐車場に止められなかった車が1台、左俣谷林道に路上駐車すると多くの人が路上駐車し、工事用の大型車両がスムーズに通行できなくなったり、歩行者との接触事故が発生することが考えられた。

そこで、高山市に了解のもと、近隣工事との工事連携会議において左俣谷林道の約250m区間にカラーコーンを設置し、歩行者通路を確保するとともに、路上駐車止の明示をおこなった。



5. 結果

上記対策を行なうことにより、第三者との事故はもちろんのこと、苦情もなく紅葉シーズンが終わり、辺り一面が銀世界へと変わった。

6. おわりに

紅葉シーズン以降、付近は冬山登山や観光で訪れる方もいます。新穂高の冬は他と比べて特に気温の低い場所でもあり、積雪や凍結することもあるかと思いますが、作業員全員で、無事故・無災害で工事完成できるように努めてまいります。